



校章【五稜】

学校だより

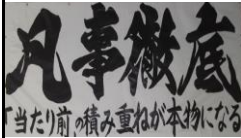
「チーム中部中」



五稜戦隊チュウブレンジャー

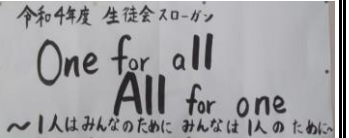
令和4年度12月号
No.9

文責
平戸市立中部中学校
校長 甲斐田 彰



校訓：自主 規律 責任

学校教育目標：ゆたかな心情 たしかな学力 たくましい心身



【伝統を引き継ぎつつ、新しい風を】

中部中学校では12月は選挙の季節です。今年も、生徒会長候補2名、男子副会長候補2名、女子副会長候補4名の計8名が熱い選挙戦を繰り広げました。

立候補者たちは、選挙ポスターや朝と昼休みの投票呼びかけ、給食時の選挙放送などで「どんな中部中学校にしたいのか。」を全校生徒に訴えかけました。



そして12月7日(水)に立会演説会と投票が実施されました。立会演説会では、どの立候補者も中部中学校をよくしようという熱意にあふれた主張を述べてくれました。また、推薦責任者の応援演説も立候補者への信頼と友情を感じさせる素晴らしいものでした。



その後、行われた投票の結果、会長に松永あかりさん、副会長に村田隆惺さんと松山葵さんが当選しました。松永さんは「中部中のよき**伝統を引き継ぎつつ、新しい風を**起こしたいです。」と決意を述べてくれました。

【みんなでコミュニケーション】

12月16日(金)生徒会レクリエーションでクイズ大会を行いました。

現生徒会役員としては、最後の大きな行事となるため、準備にも力が入りました。

全校生徒が、学年男女入り混じった10班に分かれ、チームで競いました。時事クイズやイントロクイズ、トライアングルしりとりなど多彩なクイズに取り組んだ結果、谷浦志琉チームが見事優勝しました。志琉さんは「**みんなでコミュニケーション**を取りながら答えを導きだしたことが勝利の秘訣です。」と笑顔で答えてくれました。

最後に、3年生がリズムダンスを披露し、12月26日の全国大会の必勝を誓いました。思い出に残る生徒会行事に「ブラボー！」



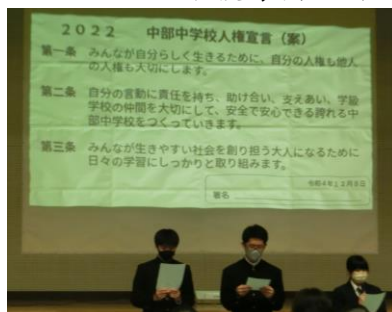
【体験を通じた人権の学び】

1948年12月10日、国際連合総会で世界人権宣言が採択されたのを記念し、日本では毎年12月4～10日を人権週間とし、全国各地で啓発活動が行われます。

中部中学校でも12月9日(金)に、人権集会を実施しました。各学年の発表では、1年生は「ちがいを認めることの大切さについて」、2年生は「車いす体験や手話体験で学んだことについて」、3年生は「同和問題学習や認知症について」発表しました。

その後、人権作文コンテスト最優秀賞に輝いた川上琴心さんの朗読と中部中学校人権宣言の採択を行いました。

どの発表も**体験を通じた人権の学び**となり、深く心に残る集会となりました。



【やっぱり大人は強かった】

下のポスターにもあるとおり、12月14日～12月23日が、年末の交通安全県民運動でした。そこで「グーグルクラスルーム」の「校長クラス」に交通安全クイズを掲載しました。

問1 自転車は車道の左側を通行した方がいい。

正解 **×** 車道の左側を通行しなければならない。

問2 赤信号は「止まれ」、青信号は「進め」である。

正解 **×** 青信号は「進むことができる」青信号でも安全が確保できなければ進んではならない。

など、本当の運転免許の学科試験のようにちょっと意地悪な問題にしたところ「全部○だと思ったら、全部**×**でした。」

「家族でやってみました。**やっぱり大人は強かった。**」などの感想が聞かれました。

お子さんと一緒にクイズを解いて、交通安全について再確認してみてください。

